

誇れる森がある

■ 林政課 (管内線 245)



受け継がれる

まちの誇り

担っています。
そして、第63回(2033年)式年遷宮の御杉山に、長野県の木曾谷国有林と中津川市の加子母裏木曾国有林が選ばれました。

伝統技法で伐採

6月5日(木)には、加子母裏木曾国有林で、2本の御神木が伝統伐採技法の「三ツ緒伐り」で伐採されます。「三ツ緒伐り」については、広報2月号21ページ、または二次元コードから紹介動画をご覧ください。



鳥総立(株祭り)

三ツ緒伐りで伐倒した後、木の中間をいただきましたという感謝の意味を込めて、伐倒木の先端を採って切り株に刺します。



▲昭和時代の三ツ緒伐りの様子(加子母地内)

裏木曾御用材伐採式

とき 6月5日(木)
ところ 加子母裏木曾国有林

裏木曾から伊勢へ送り出す

1924年に大井ダムが完成するまでは、木曾・裏木曾の木材は木曾川から伊勢湾まで川を使って運ばれていました。

その後、森林鉄道や北恵那鉄道・国鉄などを使得運ばれた歴史が残っています。



▲大正時代の水運の様子(付知町地内)



裏木曾御用材伐採式で伐り出された御神木は、護山神社で一晚安置されます。翌6月6日(金)に市内各所を立ち寄り、さまざま

まな催事・イベントが行われ、7日(土)に伊勢へ向け送り出されます。イベントの詳細は広報5月号でご紹介します。

御杉山の歴史

第1回(690年)	神路山(伊勢市)
第47回(1709年)	木曾山(中津川市湯舟沢)
第51回(1789年)	大杉山(三重県大台町)
第52回(1809年)	木曾山(中津川市湯舟沢) 木曾山(南木曾町蘭)
第56回(1889年)	木曾の御料林(中津川市加子母) 木曾の御料林(上松町)
第60回(1973年)	木曾の国有林(中津川市加子母) 木曾の国有林(上松町)



▲昭和時代のお木曳の様子(付知町地内)

なかつがわ御神木祭

とき 6月6日(金)
9時~16時(予定)
ところ 道の駅「花街道付知」、福岡総合事務所、にぎわい広場など

interview



付知土建(株) 熊田 貴則さん

まちの歴史、木の良さ、日本文化の素晴らしさを伝えたい

伝統伐採技法である三ツ緒伐りを継承する団体「裏木曾三ツ緒伐り保存会」の事務局をさせていただいております。

10年前にこの地の森林文化に魅せられ移住し、今年このようにな一大行事に携わることができると思うと大変感慨深いです。

一本の大ヒノキに約1時間かけて「寝かす」技法。木と対話するように三人の杉(木こり)が息を合わせる。そんな三ツ緒伐りをやりたくて会社に入ってくれた同僚もいます。

このような行事を通して、改めてこのまちの歴史、木の良さ、日本の文化の素晴らしさが伝わることを願っています。そして、地域の皆さんには、引き続き林業へ応援をよろしく願います。

※写真は中部森林管理局東濃森林管理署所蔵 (interview を除く)